

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日 東

上場会社名 株式会社サトー商会 上場取引所  
 コード番号 9996 URL <http://www.satoh-web.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝口 良靖  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 藤原 督大 (TEL) 022-236-5600  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	24,922	1.2	698	2.6	803	0.4	483	△10.5
2019年3月期第2四半期	24,615	△0.4	680	2.1	800	2.2	540	9.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 464百万円(△13.4%) 2019年3月期第2四半期 536百万円( 3.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	54.05	—
2019年3月期第2四半期	60.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	33,064	23,333	70.6
2019年3月期	34,187	23,002	67.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 23,333百万円 2019年3月期 23,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年3月期	—	15.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,320	3.0	1,400	△4.1	1,620	△3.7	1,140	△4.3	127.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期2Q	9,152,640株	2019年3月期	9,152,640株
2020年3月期2Q	211,848株	2019年3月期	211,848株
2020年3月期2Q	8,940,792株	2019年3月期2Q	8,940,799株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益が堅調に推移したことや、雇用・所得環境の改善が続いたことなどにより、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米中の貿易摩擦の長期化及び中国経済の減速、英国のEU離脱をめぐる混乱など、海外経済の不確実性が懸念され、景気の不透明感は一層増しています。

食品業界におきましては、原材料や物流費の高騰、人手不足による労働単価の上昇が業界全体の経営課題となっていると捉えており、先行きの環境は引き続き厳しいものとなりました。

このような経営環境のもと当社グループは、2019年度経営方針「お客様に最も頼りにされる企業にする」を掲げ、お客様のご商売をお客様と一緒に考え、課題の解決やサービスの創造できる人材の育成とその環境づくりを進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高249億22百万円(前年同四半期比1.2%増)、営業利益は6億98百万円(同2.6%増)、経常利益は8億3百万円(同0.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億83百万円(同10.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、東北各県及び北関東エリアの新規お客様の獲得、既存のお客様への更なる深耕を図るために、業種、業態の枠を越えた人手不足対策商品、省力化商品など利便性の優れた商品を中心に展示会並びに提案会でご紹介するなど、総合的な営業活動に取り組んでまいりました。商品開発におきましては「J F S A」ブランドを中心に人手不足対策などのお客様の現場の課題解決に繋がる商品や省力化商品、お客様の現場で必ず使用される基本商品の品揃えの強化に取り組み、同業者との差別化戦略に重点を置いた商品の提供に努めてまいりました。

この結果、売上高219億5百万円(前年同四半期比1.4%増)、セグメント利益(営業利益)は8億円(同1.1%増)となりました。

小売業部門におきましては、主要顧客であります中小飲食店様の商売繁盛へ貢献するために、各地区の店舗において展示即売会を開催し、仕入の利便性向上に役立つ商品の提案を実施いたしました。また、卸売業部門との連携を図り、「J F S A」ブランドを始めとして、付加価値の高い商品と専門性の高い品揃えの充実、あわせてクーポンによる販売促進にも取り組み、新規お客様の獲得に注力いたしました。

この結果、売上高30億17百万円(前年同四半期比0.5%増)、セグメント利益(営業利益)は2億7百万円(同13.3%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ11億22万円減少し、330億64百万円となりました。これは主に、その他流動資産の減少によるものであります。

##### (負債)

負債は、前連結会計年度末と比べ14億53百万円減少し、97億31百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

##### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ3億30百万円増加し、233億33百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は70.6%(前連結会計年度末67.3%)となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ4億29万円増加し、71億61百万円(前年同四半期33億29百万円)となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は5億99百万円(前年同四半期12億95百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加及び仕入債務の減少によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は11億64百万円(前年同四半期1億81百万円の使用)となりました。これは主に、有価証券の償還によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億34百万円(前年同四半期1億24百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,632,153	1,461,904
受取手形及び売掛金	5,672,791	5,495,727
有価証券	6,867,500	6,694,645
商品	2,540,349	2,454,477
その他	1,412,080	400,113
貸倒引当金	△11,737	△10,887
流動資産合計	21,113,137	16,495,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,393,634	1,392,025
土地	3,695,549	3,695,549
その他(純額)	344,039	426,696
有形固定資産合計	5,433,223	5,514,271
無形固定資産		
	77,007	116,026
投資その他の資産		
投資有価証券	5,904,613	9,193,205
その他	1,697,905	1,775,614
貸倒引当金	△38,417	△30,602
投資その他の資産合計	7,564,100	10,938,217
固定資産合計	13,074,332	16,568,515
資産合計	34,187,469	33,064,495
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,711,460	7,312,127
短期借入金	698,000	698,000
未払法人税等	286,500	291,000
賞与引当金	317,203	405,413
その他	891,784	736,748
流動負債合計	10,904,948	9,443,289
固定負債		
役員退職慰労引当金	191,177	195,226
退職給付に係る負債	33,785	37,469
資産除去債務	32,437	32,495
その他	22,839	22,996
固定負債合計	280,240	288,188
負債合計	11,185,188	9,731,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,717	1,441,717
利益剰余金	20,271,699	20,620,794
自己株式	△188,493	△188,493
株主資本合計	22,930,723	23,279,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,631	58,257
退職給付に係る調整累計額	△3,073	△5,057
その他の包括利益累計額合計	71,557	53,200
純資産合計	23,002,280	23,333,018
負債純資産合計	34,187,469	33,064,495

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	24,615,783	24,922,073
売上原価	20,020,441	20,182,636
売上総利益	4,595,342	4,739,436
販売費及び一般管理費	3,914,975	4,041,091
営業利益	680,366	698,344
営業外収益		
受取利息	52,191	51,575
受取配当金	18,175	18,217
持分法による投資利益	14,264	12,897
受取賃貸料	25,139	25,213
その他	18,487	17,248
営業外収益合計	128,258	125,151
営業外費用		
支払利息	1,173	1,185
賃貸収入原価	6,559	6,131
複合金融商品評価損	—	12,352
営業外費用合計	7,732	19,668
経常利益	800,892	803,828
特別損失		
固定資産除却損	1,138	9,397
減損損失	10,390	86,622
特別損失合計	11,529	96,020
税金等調整前四半期純利益	789,363	707,807
法人税、住民税及び事業税	282,377	271,394
法人税等調整額	△33,093	△46,792
法人税等合計	249,284	224,601
四半期純利益	540,079	483,206
親会社株主に帰属する四半期純利益	540,079	483,206



## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	540,079	483,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,383	△16,373
退職給付に係る調整額	3,286	△1,984
その他の包括利益合計	△3,097	△18,357
四半期包括利益	536,982	464,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	536,982	464,849
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	789,363	707,807
減価償却費	125,065	121,560
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,915	4,049
賞与引当金の増減額(△は減少)	93,302	88,209
受取利息及び受取配当金	△70,367	△69,792
複合金融商品評価損益(△は益)	—	12,352
支払利息	1,173	1,185
持分法による投資損益(△は益)	△14,264	△12,897
固定資産除却損	1,138	9,397
減損損失	10,390	86,622
売上債権の増減額(△は増加)	△124,665	177,063
たな卸資産の増減額(△は増加)	△55,612	85,631
仕入債務の増減額(△は減少)	714,312	△1,399,333
その他	△10,500	△216,535
小計	1,452,421	△404,677
利息及び配当金の受取額	74,738	68,436
利息の支払額	△1,188	△1,204
法人税等の支払額	△230,571	△262,388
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,295,400	△599,833
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△500,000	△500,000
有価証券の売却による収入	—	467,500
有価証券の償還による収入	1,050,000	1,500,000
譲渡性預金の純増減額(△は増加)	600,000	3,800,000
有形固定資産の取得による支出	△85,417	△231,604
無形固定資産の取得による支出	△2,004	△52,510
投資有価証券の償還による収入	250,000	—
投資有価証券の取得による支出	△1,502,097	△3,819,621
その他	7,653	363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△181,865	1,164,127
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,000	—
配当金の支払額	△134,112	△134,111
その他	△478	△430
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,591	△134,542
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	988,943	429,751
現金及び現金同等物の期首残高	2,340,829	6,732,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,329,773	7,161,904

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	21,612,816	3,002,967	24,615,783	—	24,615,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,612,816	3,002,967	24,615,783	—	24,615,783
セグメント利益	791,630	183,107	974,737	△294,370	680,366

(注) 1. セグメント利益の調整額△294,370千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	21,905,011	3,017,062	24,922,073	—	24,922,073
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,905,011	3,017,062	24,922,073	—	24,922,073
セグメント利益	800,127	207,441	1,007,568	△309,223	698,344

(注) 1. セグメント利益の調整額△309,223千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

調整額において、除却を予定している共用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額81,915千円を減損損失として特別損失に計上しております。

また、「小売業部門」セグメントにおいて、除却を予定している事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額4,707千円を減損損失として特別損失に計上しております。